

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度	<p><b>対象地域の中等学校にジェンダー平等を浸透させ、より多くの女子が改善された環境で中等教育を受けられるようになる。</b></p> <p>本事業は3年事業のうちの第2年次である。四半期モニタリングおよび第2年次終了時アンケート<sup>1</sup>の結果から、特に第1年次から事業を開始した5校においてジェンダー平等実現に向けた多くの変化が起きていることが確認された。アンケートでは対象11校の教師の84%、生徒の87%、子どもクラブリーダーの86%が事業開始後に学校においてジェンダー平等に関する変化が起きたと報告している。特に女子生徒がスポーツなどの活動により多く参加するようになった、教師がクラスで男子生徒と女子生徒を平等に扱うようになった、女子生徒のリーダーが増えた、ジェンダーに基づく暴力が減ったなど、具体的な変化の例が挙げられた。対象校の学級委員長の女子生徒の割合が前年度は平均35%であったのに対し今年度は47%に増加した。特に第1年次から活動を開始した対象校においては、事業開始前から比較して25%から72%へ増加している。</p> <p>授業ではまだ男子生徒の方が女子生徒より多く発言し、女子生徒より自信がある傾向にあることが教師のアンケートから分かったが、子どもクラブの活動を通して特に女子の子どもクラブリーダーに自信が付き、行動にも変化が起きている。</p> <p>また、学生寮の建設により、73人（うち女子32人）の生徒が竹小屋から新規学生寮に入居し、安全で衛生的な寮生活を送ることができるようになった。</p>
(2) 事業内容	<p>第1年次から活動を開始した対象5校では、教師、子どもクラブリーダー、PTAへのジェンダー平等に関する再トレーニングを中心に行い、子どもクラブの活動をサポートした。第2年次から対象とした6校（9月に開校した1校も対象校に追加）では、教師、PTAのトレーニングに加え、新たな子どもクラブを設置、活動を開始した。また、対象校1校で学生寮の建設を行い、学生寮・施設の維持管理トレーニングを10校で行った。</p> <p>* 変更報告書2-6を9月に提出した後の対象校は合計11校</p> <p>各活動の進捗状況は以下のとおり。</p> <p><b>1. 教育環境の改善</b></p> <p>1-1 建設業者の入札・特定 11社からの入札を受け、入札委員会（プラン、県郡教育・スポーツ局、建設対象校）が1月23日にボケオ県ホアサイ郡で建設業者選定会議を開き、業者の選定を行った。</p> <p>1-2 学校・PTAへの説明会、監理トレーニング 2月9日に学生寮の建設対象校のモクソー中等学校にて説明会、監理トレーニングを実施し、学校とコミュニティから33人（うち女性8人、女子生徒4人）が参加した。学生寮建設の目的、設計、日程等を説明した他、学校とコミュニティの代表（教師、村長、村教育開発委員会等）10人（うち女性4人）からなる建設管理委員会を設立し、委員会メンバーが果たす役割を確認した。</p> <p>1-3～1-5 建設工事、給水設備工事、備品の調達・搬入 2月～7月までの期間に学生寮、調理場、トイレ、給水設備（深井戸の新規</p>

設置と既存の浅井戸の修繕)の建設を行った。新学年が始まる9月からは、女子生徒32人、男子生徒41人の合計73人が新規学生寮に入居した。

【追加活動(変更承認申請書第2-1)】

パークッド中等学校で昨年建設した学生寮用のトイレ、水浴び場、調理場へ十分な給水を行えていなかったため、学校の給水タンクを新規設置し、コミュニティの水源から学校の給水タンクまで直結する給水パイプ(4km)を10~11月にかけて新しく敷設した。完了後より十分な給水を行うことができている。

1-6~1-7 教師・PTA対象上記施設維持管理トレーニング、教師・PTA対象学生寮運営トレーニング(1日)

対象校10校で学生寮、トイレ、給水設備などの施設の維持管理、ジェンダーに配慮した施設の管理、水・衛生に関するトレーニングを行い、教師生徒の代表、PTA、コミュニティ代表など286人(うち女性・女子139人)が参加した。学生寮を建設したモクソー中等学校では、学生寮担当の教師と学生寮のリーダーとなる生徒を中心にトレーニングを行った。

## 2. ジェンダー平等促進・人材育成

### 2-1 事業開始ワークショップ

2017年12月20日に、第2年次から新たに対象となった5校の校長、ジェンダー担当教師15人(うち女性5人)を招き、県・郡教育・スポーツ局職員5人(うち女性3人)と共に事業開始ワークショップを実施した。事業の目的、活動内容およびスケジュール、第1年次の活動の学びを共有した。

### 2-3 トレーニングマニュアル、テキスト開発

第1年次に制作した、教師を対象としたジェンダートレーニングマニュアルは、改訂・デザインおよび印刷(180部)を行い、対象校11校と教育・スポーツ省・局へ配布した。教育・スポーツ省からは、本マニュアルを他地域の学校にも配布・展開したいとのフィードバックを得ている。

### 2-4 県郡教育・スポーツ局職員対象ジェンダートレーニング(5日)

県・郡教育・スポーツ局職員7人(うち女性3人)を対象に、2月20日~24日の5日間にわたるジェンダートレーニングを実施した。内容は、1)ジェンダー、ジェンダー平等に関する基本的な知識、2)学校におけるジェンダーに基づく暴力、3)ジェンダー平等を促進する教育環境づくり、4)トレーニングを行うためのファシリテーションスキルである。

### 2-5 ジェンダー担当教師対象トレーニング(5日)

第2年次から対象となった5校のジェンダー担当教師10名(各校男女1名ずつ)と校長(うち女性0人)を対象に5日間(2月27日~3月3日、校長は3日間のみ)のトレーナー対象トレーニングを行った。

第1年次から活動を実施している5校のジェンダー担当教師に対しては、8月23~24日の2日間の再トレーニングを行い、8人(うち女性4人)のジェンダー担当教師が参加した。ジェンダーに関する知識をより深めるための活動を中心に、子どもの権利・保護についてもトレーニングを行った。

<sup>1</sup> 対象11校の教師135人、生徒447人(うち子どもクラブリーダー121人)にアンケートを行った。2018年12月にアンケート用紙配布、2019年1月に回収。アンケート結果は別添②モニタリング報告書を参照。

#### 2-6 全教師対象トレーニング（3日）

第2年次から対象となった5校のジェンダー担当教師が、当団体、郡教育・スポーツ局職員と共に所属する5校の全教師に対して5月5日～13日に各校3日間のジェンダートレーニングを実施し、合計64人（うち女性16人）が参加した。

8月27日～9月6日の間に第1年次から活動する5校の合計120人（うち女性53人）へ再トレーニングを行った。

#### 2-7 PTA 対象トレーニング

第2年次から対象となった5校のPTAメンバー（保護者代表）に対し、7月16日、19日に各校でジェンダートレーニングを実施した。PTAの人数が少ない学校は、PTA以外にも村教育開発委員のメンバー等も参加し、36人（うち女性6人）がトレーニングを受けた。参加者には、村に掲示する啓発用のポスターを配布した。

第1年次からの対象5校のPTAメンバーへは、7月12日に再トレーニングを行い、16人（うち女性5人）が参加した。

#### 2-8 通報・相談窓口の設置

学校で起こるジェンダーに基づく暴力の通報・相談窓口の設置にあたり、対応能力の向上のために、9月21～23日に11校のジェンダー担当教師および校長合計36人（うち女性8人）へカウンセリングのトレーニングを行った。トレーニングで合意した通報・相談の方法についてポスターを制作し、各校へ配布。ジェンダー担当教師が窓口となり、生徒や教師からの通報・相談を受ける窓口の運営を開始した。

#### 2-9 ジェンダー担当教師対象子どもクラブ設置・運営指導トレーニング

第2年次から対象となった6校で子どもクラブ設置に向けて、11人（うち女性5人）のジェンダー担当教師に対して9月24～25日にトレーニングを実施した。

#### 2-10 子どもクラブ設置説明会

9月に第2年次から活動を始めた6校各校で全校生徒向けの子どものクラブ説明会を開き、リーダーの募集・選出を行い、各学年に2～4人からなるクラブを設置した。

#### 2-11 子どもクラブリーダー対象トレーニング（半日×4日）

第1年次から活動している子どもクラブは、9月から10月にかけて合計94人（うち女子47人）のリーダーに対し、再トレーニングを行った。第2年次からの対象6校のリーダー88人（うち女子44人）に運営方法、ジェンダー平等、寸劇についてのトレーニングを実施した。

#### 2-12 子どもクラブの活動

子どもクラブリーダーが中心となり啓発活動が行えるように、ピクチャーカードやポスターなどの啓発ツールを製作・配布した（詳細は別添④配布物一覧）。各校の子どもクラブリーダーたちは、それらのツールや寸劇を通して、生徒間の啓発活動を行った。11月25日の女性に対する暴力撤廃の国際デーに合わせて寸劇を行うイベントも実施し、学校や家庭で起こる女子・女性への暴力について啓発を行った。

#### 2-13 国際女性の日イベントへの参加

3月7日に国際女性の日イベントをポングラ中等学校で開催した。

	<p>第1年次から活動している5校の子どもクラブリーダーが、ジェンダー平等と女子教育の大切さへの理解を促すため、寸劇などを通じて啓発を行った。</p> <p>2-14 教育・スポーツ省との現地視察および協議 3月（5校）、10月（5校）、11月（5校）にインタビュー、授業と施設の視察を通じたモニタリングを行った。モニタリング結果から、学校で起きている変化や今後の改善点を学校と教育・スポーツ局へ共有した。</p> <p>2-16 教育・スポーツ局（県・郡）との定期連絡会議 2月、6月、8月、10月、11月に関係者と連絡会議を開き、活動の進捗、成果・課題等を共有した。2月、10月の連絡会議では対象校でモニタリングを行うために、モニタリングと評価のトレーニングも同時に行った。</p> <p>2-17 振り返りワークショップ 11月26日に対象校11校、県・郡教育・スポーツ局と共に第2年次の活動を振り返り、成果・課題を協議するワークショップを実施した。校長、ジェンダー担当教師ら32人（うち女性10人）が参加した。</p> <p>トレーニング・ワークショップの詳細は、別添④トレーニング実施表を参照。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	
<p>(4) 持続発展性</p>	

<p>3. その他</p>	
<p>(1) 固定資産譲渡先</p>	

(2) 特記事項	
----------	--

完了報告書記載日：2019年2月28日

団体代表者名： 代表理事 池上清子  
代理人氏名 長島千野